

## 株式会社 三越 2007年2月上報告

## 1. 店別状況

店名	前年比 (%)
全店合計	-3.8
日本橋	-7.8
新宿アルコト	9.3
銀座	-8.6
池袋	-2.7
千葉	-5.0
仙台	1.8
札幌	-3.1
名古屋栄	-1.1
名古屋星ヶ丘	6.1
新潟	-3.2
広島	0.1
高松	7.1
松山	-0.8
福岡	-2.3
鹿児島	-1.3

## 2. 商品分類別売上高

		前年比 (%)
合計		-3.8
衣料品	紳士服・洋品	-3.8
	婦人服・洋品	-3.2
	子供服・洋品	-1.8
	その他衣料品	-8.0
衣料品小計		-3.6
身の回り品		-2.2
家庭用品	家具	-39.5
	電器	23.0
	その他家庭用品	2.5
家庭用品小計		-16.7
食料品		-2.8
食堂・喫茶		-7.8
雑貨		-2.4
サービス		1.1
その他		4.1

## 3. 店頭・事業部門別売上高

	店頭部門		事業部門	
	売上高	前年比	売上高	前年比
月計	40,774,489	-1.8	7,525,464	-13.3
累計	322,605,552	-3.0	58,326,100	-2.8

## 4. 現金・売掛別売上高(月計)

	全店	
	売上高	前年比
合計	48,299,953	-3.8
現金	36,229,426	-1.6
売掛	12,070,527	-9.8

## 5. 来店客数

	前年比 (%)
	全店
首都圏	19.1
日本橋	30.0

## 6. 商況概況

## &lt;2月商況&gt;

- 前半は各店ともにバレンタイン商戦が好調に推移したほか、春物衣料の出足が良く、ファッション部門を中心に順調に推移したものの、中盤以降は伸び悩み売上前年比は-3.8%となった。
- 新宿アルコト店、仙台店、星ヶ丘店、広島店、高松店の5店舗の売上は、前年を上回った。
- 日本橋本店は、春物衣料や宝飾品が好調だったものの、引き続き本館1階・地下1階などの一部閉鎖による売場面積減少の影響もあり、売上前年比は-7.8%となった。
- 銀座店は、バレンタイン商戦や紳士・婦人ともに春物衣料が好調だったものの、一部ブランドの契約終了による売上減が響き、売上前年比は-8.6%となった。
- 名古屋栄店は、月初はバレンタイン商戦を中心に好調で高級時計など高額品も堅調だったが、後半は伸び悩み売上前年比は-1.1%となった。
- 高松店は、昨年11月のリニューアルオープンの効果が続き、来客数が前年比2桁増となり、売上前年比は7.1%となった。
- 広島店は全体的に春物衣料の動きが好調で、売上前年比は0.1%となった。

## &lt;その他&gt;

- 2月28日、郊外型百貨店の2店目としてダイヤモンドシティ・エアリ内に名取店がグランドオープン。ファミリーとその親世代、3世代にわたってお楽しみ頂ける百貨店を目指している。
- デパ地下の要素を取り入れた1階の「グルメ&ギフト」ゾーンを中心に来客・売上ともに好調に推移。
- バレンタインデーは、全店で「CLASS SWEETS」をテーマに展開し、食品売場では前年比1.2%のプラスと順調に推移した。特設会場でイベントを開催した日本橋本店・銀座店・名古屋栄店は、欧州のパティシエを中心に好調で連日多くのお客様で賑い会場での売上査定も大幅に達成した。

## (参考) 2006年3月からの売上前年比推移(全店計)

	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
全店計	-6.7	-11.9	-8.8	-5.1	-5.0	-6.6	-0.6	-4.9	-2.0	-4.5	-1.0	-3.8

以上